

祝25周年。知られざる過去を振り返る

ついでに「かみおか新聞」21号記念も祝う

いつもお祈りとご支援感謝致します。

毎号ご購入いただきありがとうございます。今年8月9日に私が25歳になることを記念しまして、勝手に本紙で祝います。いつもは真面目に書いていますが、今回だけは少しお茶目に書きたいと思います。



←仙台で楽天の試合観戦。東北を愛するあまり、気付けば楽天ファン。

【特集】どうして岩手に来たのか。その人生を初めて語る！

えー、この度、かみおか読者の皆様にそもそもどうして岩手に来たのか。そしてこれからどうなりたいのか。25歳という節目に、誰からも取材されないの、本紙が独占スクープで取り上げたいと思います。

①平成元年、山口市に牧師の子どもとして生まれる

小学生時代の夢は、マンガ家。だけど今でもなりたい。牧師の子どもとして生まれ、熱心な幼児クリスチャンでしたが、家がキリスト教だということを友達にバカにさ

れたり、日曜日遊べなかつたりして等あって、中学時代には牧師の子どもであることをすっかり後悔していました。

②教会から離れかけた中学時代に転機が！そうして決めた「この人生をイエスさまにかける！」

イエスさまは嫌いではなかったけど、教会が面倒くさくなった時に、2つの大きなキッカケがあって、人生を決めました。その2つのキッカケについては長くなるので、直接私に聞いて欲しいのですが、主に2人の牧師に出会って、「中途半端をやめ、イエスに本気になること」と「罪と心の傷から自由になれる神の大きな愛」を知りました。中学時代はいじめもあり、辛い時期でしたが、同時に人生の道を決めることが出来、今思えば感謝な時でもありました。

③「困難な状況の中にいる子ども達に寄り添い続けたい。」その想いで東北・岩手へ。

「幸せな子ども達より、助けを必要としている子どもたちのために働きたい」と、2010年春に短大を卒業し、保育士になりましたが、震災を通して「その子ども達は今、東北にたくさんいる」と考え、祈っている中で岩手への道が開かれ、2011年5月に初めて東北に行きました。保育士でなかったら、東北の子ども達を助けたいとならなかつたら、2011年2月にJCMNサミットに参加していなかったら、ネットワークがなく、岩手のチームに出会う事もなかったと思います。

④私は「聖書も神も知らない」と宣教のトレーニングを受け始め、長期宣教師の道を選ぶ。

震災被害を目にして、「東日本大震災の被害の大きさと働き人の必要性」と「なぜこの震災が起きたか理解できず、もっと聖書を読んで神様を知りたい」という2つの思いが与えられ、宣教のトレーニングを受けることにしました。私は、それまで聖書をあんまり読んでなかったのですが、震災をきっかけに聖書を当たり前を読む人生に変わりました。トレーニングコースをしてくれた宣教師の勧めもあり、長期宣教師として岩手に行きたいと2011年8月に思いが与えられ、同年10月からCCMN 岩手チームに参加し宣教を始めました。

⑤今後について。「日本の宣教のムーブメントのために、イエスのためにどこまでも行きたい」

これまでの経緯は、以前も本紙や証で語る機会もありましたが、これから話すことは人にあまり言ったことがありません。私は、東北での働きをできれば10年続けたいと考えています。それは、長期宣教は、2〜3年では短く、腰を据えて働けないと聞いたからでした。たしかに、2年半働いてみると、「これから」と感じています。そして、10年後は、「海外で宣教師として働く」か「岩手に留まるか」今考えて祈っています。私は、「自分がこうしたい！」という希望よりも、「日本の宣教のムーブメントのために、イエスのためにどこまでも行きたい」という希望が強いです。海外で宣教師として働くというのは、何となくすごそうですが、別にそれだけが神のために働く道だとは考えていません。

⑥最後にぜひお祈りください。

私は25年を振り返っても本当に不思議な人生を歩んでいます。全く予想も出来なかった人生です。しかし、今思うと東北で働くために10代は準備期間として備えられていたと感じます。今の20代も30代のための準備期間かもしれません。30代は海外にいるか、岩手にいるかわかりません。その頃一体、この世界はどんな世界なのか、日本はどんなことになっているかわかりません。ただ、私はその時代に神の指が示す人々の所へ宣教に行きたいと、人々に寄り添いたいと考えています。かみおかも21号目を迎えました。ここまで続けることが出来て、また読んで下さる方がいることが感謝です。一体いつまで書き続けるのか、一体いつまでご支援とお祈りをお願いしていくのか、神のみぞ知ると思いますが、今後ともお祈りよろしくお願いします。

テントで寝泊まり！キッズケ家サマーキャンプ2014

7月30〜31日の2日間、子ども支援事業のキッズケ家は、初めて泊まりのキャンプを行いました。参加者は大船渡市内の6人の小中学生で、中にはテント泊が初めてのおともだちもいました。テーマは「チームワーク」。一緒に料理をしたり、テントを建てたり、チームワークゲームを通して、チームワークを学んだり、その重要性を体験しました。

私自身、責任者として初めてキッズキャンプを企画運営しました。初めてのことで、プレッシャーを感じて逃げ出したいくなりましたが、多くの祈りと、神様の助けで無事に楽しいキャンプとなり、私自身多くを学びました。NPOのキャンプなので聖書のメッセージなどはありませんが、こういうキャンプを毎年続けて、子ども達と共に成長していけたらと考えています。



【うれしい報告】初めての洗礼式を行いました。いえーい！



8月3日に初めての洗礼式を大船渡市内の海で行いました。洗礼を受けたのは、市内に住む友達のRくんです。8年くらい前からイエスさまを信じてみたいと願っていた彼が、洗礼を受けることができ感謝です。東北チーム全体で彼の洗礼を祝いました。

【たのしい報告】JCCMN 宣教師キャンプに参加しました



6月に宮城県で九州、北陸、東北の宣教チームが集まり、一緒に大切な本質を学び、また一緒に遊んでチームワークを作るというキャンプを行いました。CCMNの香港からの宣教師たち（現在日本には14人います）とゆっくり話すことが出来て感謝でした。

【一言以上コラム】失敗談も教会に話して祈ってもらうことの大切さ

宣教報告や証は、時間や内容の都合もあり成功談を話して終わりになりますが、実際は失敗や悩みも多くあります。月に一回の母教会とのスカイプでは、そういった話も出来て、祈ってもらうことが出来ます。本当に感謝です。信頼関係を作るためには心を開くことは重要だと思います。



| | | | | | |
|--------|----------|-------------------|---------|---------|-----------------------|
| 主な活動報告 | 6月17日 | 被災地4県キリスト教連絡会（宮城） | 今後の活動予定 | 8月8～11日 | 餃子キャンプ（長野県） |
| | 6月24～27日 | CCMN 宣教師キャンプ（宮城） | | 8月中旬 | 香港チーム受け入れ |
| | 7月11～12日 | 第三回東北コーチング（大船渡） | | 11月 | CCMN グローバルサミット（マレーシア） |
| | 7月末 | CCMN 短期宣教チーム受け入れ | | | |

祈りの課題

- ・ 今後の岩手での働きのため。カフェの働き、地元の教会サポート、子ども支援事業、東北コーチングの準備等、それぞれが祝福されるようにお祈りください。
- ・ 洗礼を受けたRくんの祝福と、これからの神と共に歩む人生のためにお祈りください。

瀬 知行 山口県出身 平成元年8月9日生まれ 25歳 国内宣教師 & 保育士

瀬知行を支える会の住所: 山口県山口市大内長野 633-1

ブログ:「ともだちだよブログ」<http://blog.livedoor.jp/tomotomodati/>

支援献金の方法

私の活動は皆様の支援献金によって支えられています。経済的支援にご協力して下さる方はお手数ですが、以下のいずれかの方法で口座にお振込下さい。

ゆうちょ銀行口座番号：01350-2-99626 名義：瀬知行を支える会
 他行からの振込 店名（店番）一三九（イチサンキュウ）（139）
 預金種目：当座 口座番号：0099626「瀬知行を支える会」
 郵貯振替口座番号：01350-2-99626 名義「瀬知行を支える会」

今日のヒゲ



ほとんど顔見えませんね。もはやヒゲがどうなのかもわかりません。この写真は、ネットで「瀬知行」と検索すると出てくる読売新聞の記事です。僕のヒゲはネットで見れますよ。